

すぐれた建築を日本から世界へ

1 全国の大学生たちが小さな建築空間を日本の聖地に実現する 建築学生ワークショップ

合宿にて制作に挑み、
建築のプロセスを体験する、
地域滞在型の
サマーワークショップ



2010年「平城遷都1300年祭」の事業として、世界文化遺産(考古遺跡としては日本初)にも指定されている**奈良・平城宮跡**で開催



2011年 滋賀・琵琶湖に浮かぶ「神の棲む島」**竹生島**(名勝史跡)にて宝厳寺と都久夫須麻神社と共に開催



2015年 開創法会1200年となる100年に1度の年に、和歌山**高野山・金剛峯寺**(世界文化遺産)と共に開催



2016年 国営飛鳥歴史公園の開演イベントとして、奈良**明日香・キトラ古墳**にて明日香村と共に開催



2017年「古都京都の文化財」の一環としてユネスコの世界遺産に登録された、京都市と大津市にまたがる天台宗総本山**比叡山**にて延暦寺と共に開催



「最優秀作品（竹生島 2011）」



「最優秀作品（高野山 2015）」



「最終日の公開プレゼンテーションの様子（高野山 2015）」

予定開催地(候補地) 2018年 伊勢(三重) 2019年 出雲(島根) 2020年 桂離宮(京都)

毎回 参加学生数 60名(公募により選出) | 開催時期 夏開催 | アドバイザー：地元伝統技術者、組織設計事務所、ゼネコン、建築エンジニアリング企業他 | 公開プレゼンテーション開催日 参加数 300名(2016年開催実績)

2 建築家への登竜門

35 歳以下の若手建築家による建築の展覧会

若手建築家を
公募による審査で選出
大阪駅前・うめきた
シップホールにて
毎秋に開催



2010年開催の様子 (2010年9月29日-10月11日)



2011年開催の様子 (2011年9月9日-10月10日)



2012年開催の様子 (2012年9月7日-10月6日)



2013年開催の様子 (2013年9月5日-10月5日)



2014年開催の様子 (2014年9月4日-10月4日)



2015年開催の様子 (2015年10月16日-10月31日)

過去の出展者

2016年開催の様子 (2016年10月14日-30日)

10月29日開催のシンポジウムIIの様子
(ゲスト建築家：伊東豊雄)



2010-11出展者
大西麻貴



2010-12出展者
増田信吾 太坪克己



2010-12出展者
来宮隆



10月15日開催のシンポジウムIの様子



展覧会会場の様子



会場内でのトークイベントの様子



会場内でのインタラクティブの様子



会場内でのワークショップの様子

17 日間の開催期間中、来場者数 1 日平均 440 名 期間中 7,537 名 (2016 年開催実績)

3 世界で活躍する建築家が登壇

建築レクチュアシリーズ 217

2ヶ月に1回
夜7時から
2人の建築家が
1組のゲストをお招きして
年7回開催

どんな少年・少女時代でしたか？
how did you spend your childhood years?



「2016年7月8日 ゲスト建築家:SANAA」

2016年平均入場者数 435名(実数・関係者含む)

実績比率 (アトリエ・組織設計事務所 35% | ゼネコン・ハウスメーカー・インテリア関係 28% | 官公庁団体・大学学校関係者 22% | 一般その他 15%)



「2016年12月22日 ゲスト建築家:安藤忠雄」



「2015年9月25日 ゲスト建築家:横文彦」

4 5つの分野のクリエイターが登壇

Dレク



名和晃平

美術家



皆川明

ファッションデザイナー



服部滋樹

クリエイティブディレクター



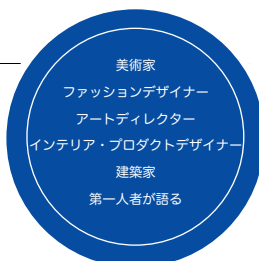
佐野研二郎

アートディレクター



藤本壮介

建築家



設立1周年記念イベントとして発足した「dレク」は、5つの主要なクリエイターの方たちを、D&DEPARTMENTの創業者でデザイナーのナガオカケンメイさんが、対談し、平沼孝啓さんがモデレートする毎年・春に開催する連続トークイベント。



2013年4月6日

ゲスト: ファッションデザイナー matofu 開催の様子



2016年2月4日

ゲスト: 建築家 石上純也 開催の様子

5 ディナーを楽しみながら

90 minutes

若手建築家の
プレゼンテーションを
ディナーを楽しみながら聴く
聴講者が主役の
イブニングレクチュア



「2016年7月14日 開催の様子」



THE DINNER OF ARCHITECTURE

このレクチュアシリーズは、現在活躍されている建築家や、建築に興味を持たれる方たちに、食事を楽しんでいただきながら、レクチュアをお聞きいただく企画です。

年4回、午後7時から、活動をはじめたばかりの若手建築家の最新プロジェクトや、処女作となった作品の手法やアプローチ、これからの建築への想いをお聞きます。

レストランでの開催から、食事を楽しんでいただきながらの和やかな雰囲気の中、モデレーターがゲスト建築家のオリジナリティを引き出し、参加者と一体につくっていくような建築家や建築関係者の交歓の場を目指すのと同時に、関西で発信する建築の活動がさらに盛んになることを期待して取り組んでいくことを意図としています。

知力が集まるレクリエーションを起こすことから始めています

Q. AAF が目指しているものは？



AAF 第 1-7 期運営スタッフ

田中天(たなか・てん) (京都造形芸術大学院 修士 2 年)

建築や芸術などの文化を知り触れることで、生活はより豊かになると私は信じています。そして AAF は、様々な文化的な知識を伝える活動を大切にしています。日常の生活に存在するような小さなきっかけを繋いでいくのが AAF であり、この活動の中で、次世代の社会を担う人たちに活動を広げ繋ぐことが私の役割でもあります。80 才を超えられた大御所から 20 代の若手まで、幅広い交流の中で、ここでしか学べないような豊かな知識を継続的に伝える機会を 1 世紀、受け継ぎ、創り続けていくことを目指します。

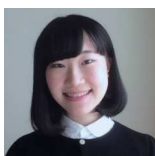
Q. AAF の活動からどんな影響を受けましたか？



AAF 第 4-7 期運営スタッフ

澤田莉沙(さわだ・りさ) (大阪大学大学院 修士 2 年)

世界的にもファシリテーターとしての取り組みが今後最も求められる設計者にとって、大学や企業、行政や民間に属する人のつながりを横断できるようになり、経済や商業優先型の価値とは違う文化力を備えた社会的な位置づけを担うのだと思います。この AAF を応援して下さる現在社会で活躍をされている多くの方たちが関わり、そのように導き、私たちにバトンを受け継いでくれているように感じています。



AAF 第 6-7 期運営スタッフ

小野美香(おの・みか) (京都女子大学 4 年)

建築やアートの可能性を、新しく拓いていくことをビジョンとしています。AAF のフィールドを通して視野を広げ、多様化した現代社会において建築やアートが活躍できるきっかけづくりをしたいと考えています。



AAF 第 2-7 期運営スタッフ

中田喜之(なかつ・よしゆき) (関西大学大学院 修士 2 年)

AAF での活動において私が一番魅力に感じる事は実際に建築に携わる人達の生き方を知れるという事です。U-35 展では若手建築家の方々のこれからの楽しい事をやっている姿を見る事ができ勇気を貰いました。また、様々な AAF の事業を通して建築家、企業の方々、また同世代の学生のそれぞれの考えや決断をリアルに感じる事ができ、自分は建築という括りの中でどう進んでいくのかを考える事ができました。



AAF 第 5-7 期運営スタッフ

樋口瑞希(ひぐち・みずき) (京都建築大 4 年)

「率先した活動を望むのなら、素晴らしい環境が AAF には存在します。」他大学で熱意ある学生が目指しているものや、日本で代表される建築家や現代美術家の思想や教えを身近に学ぶことで、自身の日常の取り組みに何が不足しているのか、どうある事が今後の人や社会にとって良いのかを考える癖が身に付きました。運営のレクリエーションを通して、建築をつくり使用されていく上で、最も大切な位置づけとなる価値基準を原点から学ぶことができます。

法人概要

特定非営利活動法人 (NPO 法人) アートアンドアーキテクトフェスタ (日本語表記)
Art & Architect Festa (英語表記)
AAF (エーエーエフ) (略称)

〒550-0015 大阪市西区南堀江 2 丁目 9-14 電話 06-4390-7056 ファクシミリ 06-4390-7056
E-メール info@aaf.ac ウェブページ www.aaf.ac

創業 2009 年 6 月 4 日 法人認定設立 2010 年 6 月 4 日

許可番号特定非営利活動法人設立認証(京都)2府推第5号の54
特定非営利活動法人定款変更認証(大阪)指令市民第1284号

(目的及び事業)

この法人は、芸術及び建築文化の振興に関する事業を行い、それぞれの地域における芸術、デザイン創作活動の支援、及び建築家や美術作家の人材育成を図り、社会における芸術及び建築文化の発展と普及に寄与することを目的とします。
この法人は、上記の目的を達成するため、次に掲げる種類の特定非営利活動を主にしています。

- (1) 建築、芸術、デザイン教育の推進を図る活動
- (2) まちづくりや保存の推進を図る活動
- (3) 学術、文化、芸術の振興を図る活動
- (4) 国際協力の社会的な活動
- (5) 前各号に掲げる活動を行う団体の企画運営又は活動に関する連絡、助言又は支援により援助の活動

役員一覧

(平成 29 年 2 月 1 日現在)

特定非営利活動法人アートアンドアーキテクトフェスタ
NPO/AAF 役員一覧

代表理事	平沼孝啓	平沼孝啓建築研究所
監事	本多友常	摂南大学教授
	横山俊祐	大阪市立大学教授
理事	幸家太郎	幸家太郎建築研究所
	藤木庸介	滋賀県立大学教授
	吉村靖孝	明治大学特任教授
職員	田中天	中田喜之
	澤田莉沙	前田真季
	樋口瑞希	松岡智大
	大塚悠平	小野美香
	原之園健作	松本ガートナー祥子
運営	建築、芸術、デザイン、環境を学ぶ大学生、院生スタッフ	100 名程度

この法人は、左記の目的を達成するため、次の事業を行います。

(特定非営利活動に係る事業)

以下は、建築及び芸術、デザインに関連する事業を原則とする。

ワークショップ事業、企画展覧会事業、フォーラム事業、コーディネート事業、コンペティション開催事業、地域再生、並びに保存事業、国際交流事業、情報収集・発信・調査研究事業、建築家・芸術家、デザイナーの創作活動の支援、国内外の建築家・芸術家の発表機会の提供、文化を社会へ繋ぐ各種アウトリーチ活動、都市計画・地域計画、企画及びプロデュース・計画立案・策定調査、博覧会・イベントの企画、コンサルタント事業、その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

Q. AAF はどのような活動をしているのですか？

AAF 法人運営マネージャー

AAF の事業では、建築や芸術、デザインや環境の分野にある多様な取り組みを通じて、これからの活躍が期待される人たちの育成を担います。スタッフたちは、各事業の裏方で「実行するマネジメント」を作業と共に取り組み、この経験を活かして、社会の中心で活躍をされる方々との関係性を繋ぎながら、具体的な取り組みの実現を目指します。活動の手掛かりとなるのは、歴史的背景や文脈を読み取りながら取り組んでいくことで、ひとつひとつ歴史に位置づけていくように、成熟した社会の先にある新たな価値を生み出します。これは継続した取り組みを続けた者たちだけに存在する、原理に結びつくような、プロセスの正しさと美しさを共有するような作業といえるかもしれません。

松本ガートナー祥子 (平沼孝啓建築研究所 海外プロジェクト マネージャー)



